

数 学  
(問 題)

2011年度

〈H23051121〉

注 意 事 項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は4~6ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にH Bの黒鉛筆またはH Bのシャープペンシルで記入すること。
4. 試験開始後、解答用紙の所定欄（2か所）に受験番号および氏名を正確にていねいに記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5. 各問題の□にあてはまる数値を解答欄に記入せよ。答の√の中はできるだけ簡単にしておくこと。また、分数は、それ以上約分できない形で答えよ。
6. 途中式や計算は解答用紙には書かないこと。
7. 試験終了の指示がでたら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
10. 採点欄には何も書かないこと。





問1.

(1) ある工場の製品が50個あり、その中に不良品が2個だけ含まれている。このとき次の問いに答えよ。

(i) この50個の製品の中から5個を同時に取り出したとき、少なくとも1個の不良品が含まれる確率は  ア である。

(ii) この50個の製品の中から同時にいくつかの製品を取り出したとき、1個以上の不良品が含まれる確率を  $\frac{1}{2}$  より大きくなるようにしたい。このときに、取り出す製品の個数は少なくとも  イ 個でなければならない。

(2)  $x^2 + y^2 = 25$  で表される円Aがある。点(7,1)から円Aに接線を引く。

(i) 接線の方程式は、 $y = -\boxed{\text{ウ}}x + \boxed{\text{エ}}$  と  $y = \boxed{\text{オ}}x - \boxed{\text{カ}}$  で表される。 ウ,  エ,  オ,  カ を正の分数で表せ。

(ii) 上で求めた2本の接線に接し、さらに円Aに接する円は  キ 個ある。これらの  キ 個の円の半径で、最大の半径は  ク であり、最小の半径は  ケ である。

問 2. 座標空間の 4 点  $O(0, 0, 0)$ ,  $A(3, 1, 0)$ ,  $B(1, 3, 0)$ ,  $C(2, 2, 3)$  を頂点とする四面体  $OABC$  を考える。

- (1) 四面体  $OABC$  の体積は  である。
- (2) 辺  $OC$  上に動点  $P$  をとる。三角形  $PAB$  の面積が最小になるとき,  $P(\boxed{\text{サ}}, \boxed{\text{シ}}, \boxed{\text{ス}})$  であり, その最小値は  である。
- (3) (2)で選んだ点  $P$  を  $P_0$  とし,  $P_0$  から辺  $AB$  に下ろした垂線と辺  $AB$  との交点を  $Q_0$  とする。  
 $Q_0(\boxed{\text{ソ}}, \boxed{\text{タ}}, 0)$  であり, 三角形  $OQ_0C$  の面積は  である。また, 四面体  $OAQ_0P_0$  の体積は  となる。

問 3. 不等式

$$|y| - |x(x-1)| \leq 0$$

の表す領域を  $S$  とする.

(1)  $S$  において, 不等式

$$-\frac{9}{10} \leq x \leq \frac{11}{10}$$

を満たす点  $(x, y)$  の領域を  $T$  とする.  $T$  に含まれる点  $(x, y)$  に対し,  $y$  の最大値は テ である.

(2)  $S$  において, 不等式

$$-\frac{1}{20} \leq x \leq \frac{11}{10}$$

を満たす点  $(x, y)$  の領域を  $U$  とする. 領域  $U$  における関数  $x + 9y$  の最大値は ト で, 最小値は ナ である.

[以 下 余 白]



